

松本秀実の世界 クラシックカーの情景

今回の企画展では、1960～90年代にかけてカー・イラストレーション界をリードし、若手イラストレーターの目標とされてきた松本秀実氏の作品を実車とともに紹介します。

最近のカー・イラストレーションはCG(コンピューター・グラフィックス)技法が増えていますが、松本氏の作品は水溶性アクリル絵具や油絵具によって手で描かれており、古き良き時代のヴェンテージ・クラシックや時代背景を踏まえた人物や建造物など、空気感や人間味に溢れた趣きのある作品となっています。

期間：12月17日(火)～2003年3月9日(日)

会場：本館2階 特別展示室



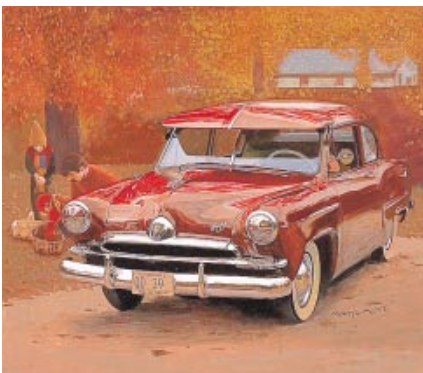
メルセデス GP4.5リッター (1914・ドイツ)



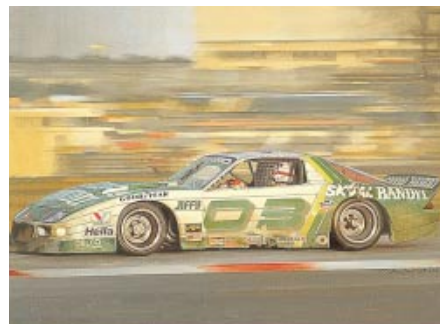
ロールスロイス・シルバーゴースト
(1914・イギリス)



フィアット TYPE35TER (1915・イタリア)



ヘンリーJ (1953-54・アメリカ)



シボレー・カマロ (1988・アメリカ)



スピリット・オブ・セントルイス号 (1927・アメリカ)



略歴

1933年 静岡県浜松市に生まれる
1961年 「東京グラフィックデザイナーズ」に入社
1965年 「カー・マガジン」誌に2年間連載「東京イラストレーターズクラブ」会員
1967年 フリー
1971年 「ドライバー」誌の表紙を手がけ1990年まで480作品を掲載
1991年 - スペイン在住